

消 防 消 第 6 1 号  
消 防 大 第 4 4 号  
平成 2 7 年 3 月 3 1 日

都道府県消防防災主管部（局）長 様

消防庁消防・救急課長  
消防大学校副校長  
（公 印 省 略）

### 消防学校を支援するための人材活用スキームについて

災害の複雑多様化や消防業務の高度化等が進む中、消防職員が適切に職務を遂行していくためには、知識・技術の更なる向上が必要であり、その基礎となる消防学校における教育訓練を充実させるための方策等を検討すること等を目的として、今年度、「消防学校における教育訓練に関する検討会（以下「検討会」という。）」を開催し、教育訓練に係る現場の声を求めながら検討を重ねてきました。

先般、検討会での検討結果を取りまとめた報告書を公表したところですが、その中で、教育訓練の充実強化に当たっては、教員となる人材の量的・質的確保が重要であるとし、質の確保として、資質を備えた消防職員の活用と高度の専門的知見のある有識者等の人材活用方策が提言されたところです。これを受け、次の2種類の人材活用スキームを運用することとしましたので、貴職におかれましては、本スキームの趣旨及び内容を踏まえ、それぞれの消防学校において活用していただくとともに、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合及び広域連合を含む。）に対し、この旨を周知いただくよう併せてお願いします。

### 記

#### 1 2つの人材活用スキーム

##### (1) 消防大学校の教育訓練を修了した人材を活用するスキーム

消防大学校が行う教育訓練の卒業・修了生名簿（以下「修了者リスト」という。）を、消防大学校が定期的に各消防学校へ提供するので、各消防学校においては修了者リストを一括管理し、当該消防学校で行う教育訓練及び都道府県内の消防本部が行う教育訓練における教員、講師等の選定に活用すること。なお、各消防学校においては、修了者リストに登録された職員について、おおむね3年間、異動状況等を

把握することで、関係者が有効に活用できるよう心がける必要がある。

これにより、各消防学校及び消防本部は、当該リストから高度な知識・技術を有する人材を選定し、消防学校の教員・講師等のほか各消防本部における研修等の講師等として活用するなど、教育訓練に活用したい人材の選定と確保が容易になる等の効果が期待される。

## (2) 消防大学の「客員教授」制度を活用するスキーム

消防大学では、同校において学生の教育に当たる者のうち、消防に関し特に優れた知識及び経験を有し、同校における教育上又は学術上の貢献が顕著であり、かつ一定の条件を満たす者に対し、「客員教授」の称号を授与している。この仕組みを充実強化させ、各分野について必要な知見を有する消防大学客員教授リストを各消防学校に提供することとし、当該消防学校で行う教育訓練において、専門分野に一定水準の知識・技術が担保された講師等を確保し、教育訓練の質の更なる向上に資する。

## 2 各スキームの内容

### (1) 消防大学の教育訓練を修了した人材を活用するスキーム

#### ア スキームのイメージ

別添1のとおり

#### イ スキームの運用

(ア) 消防大学は、消防大学で行う教育訓練を修了した者の所属・氏名・修了した教育訓練区分等を、各消防学校へ提供

(イ) 都道府県消防学校は、提供された情報を適切に管理するとともに、教員・講師等の選定に活用。併せて、当該都道府県に属する消防本部が行う研修の講師等を選定する際にも活用できるよう、各消防本部と情報を共有

#### ウ スキームの運用開始時期

平成27年4月1日

### (2) 消防大学の「客員教授」制度を更に活用するスキーム

#### ア スキームのイメージ

別添2のとおり

#### イ スキームの運用

(ア) 消防大学は、客員教授を分野ごとにリストアップし、都道府県消防学校に提供

(イ) 都道府県消防学校は、必要に応じて、提供されたリストを活用し当該消防学校において行う教育訓練の講師等を選定

※ 個々の客員教授の連絡先については、消防学校等からの求めに応じて消防大学から情報提供する。

(ウ) リストに掲載された客員教授への講師依頼等の事務については、都道府県消防学校等が直接行い、これに係る費用は当該消防学校等が負担するものとする。

ウ スキームの運用開始時期

平成27年4月1日

**【検討会、同報告書に関すること】**

消防庁消防・救急課教養係

担当：大河内・日影

電話：03-5253-7522 FAX：03-5253-7532

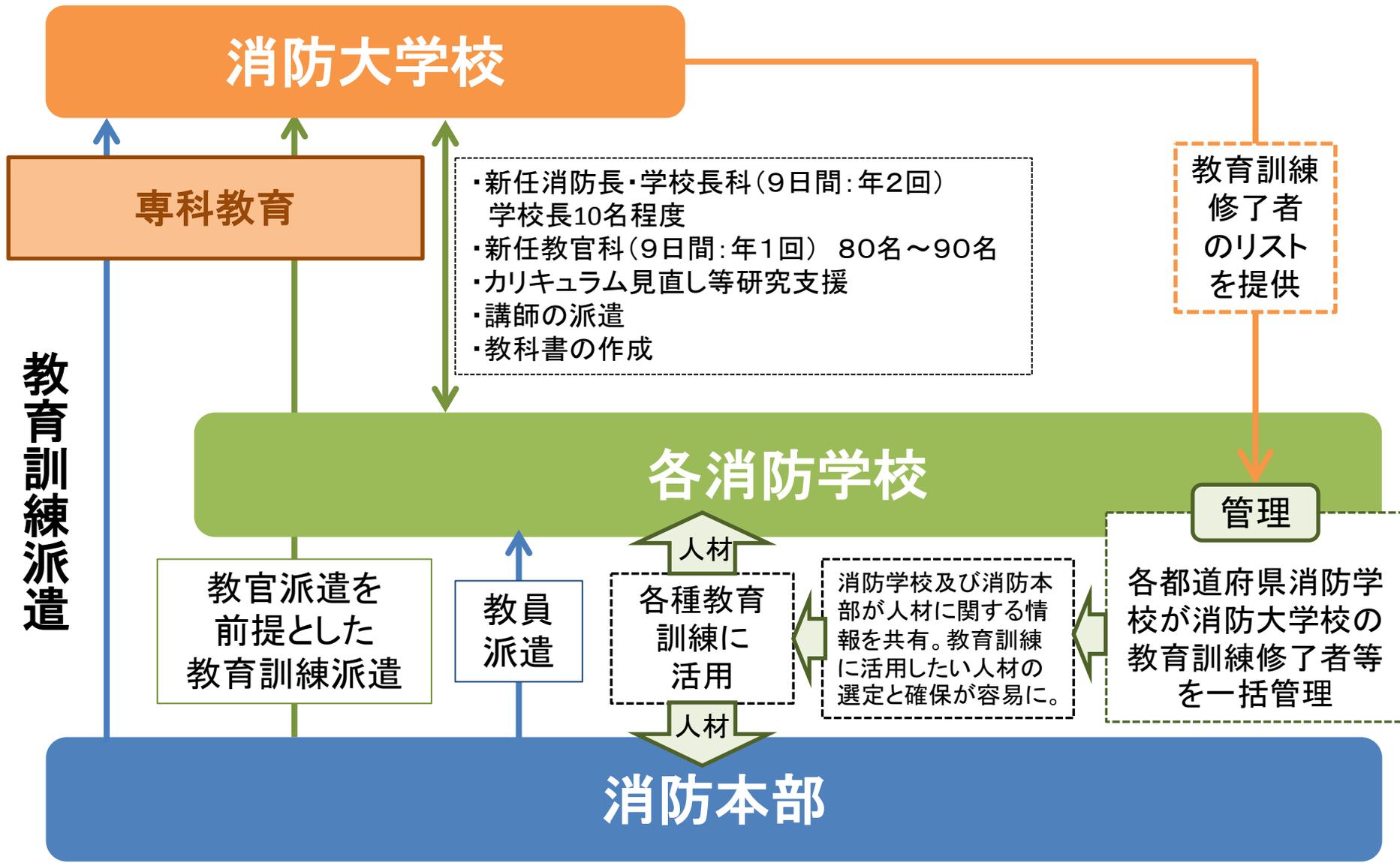
**【運用に関すること】**

消防庁消防大学校教務部

担当：富岡・久富

電話：0422-46-1712 FAX：0422-46-1988

# 消防大学校の教育訓練を修了した人材の活用スキーム



# 消防学校の講師等の確保(主に専科・幹部科) を支援するためのスキーム

## 消防大学校

分野ごとの講師陣  
リストアップ

消防学校を支援するための  
講師陣を  
消防大学校客員教授として  
プール

人材をプールしておくことで、消防大学校の教官の負担を軽減しつつ、消防学校を支援する機能の強化

専門分野等において、自力で教官の確保が困難な消防学校が、一定の水準の講師等を確保しやすくなる。

消防大学校教官OB  
(定年退職者等)

大学准教授・講師等

その他消防大学校で講師の経験のある人材

紹介を依頼

客員教授に関する情報を提供

各消防学校